

特集号

奈良のエコスタイルを発信する「サワ～タイムズ」。



茶話～タイムズ

2018年9月



発行元：奈良市地球温暖化対策地域協議会(NEW)

COOL CHOICE 版

少し物知りになる話題

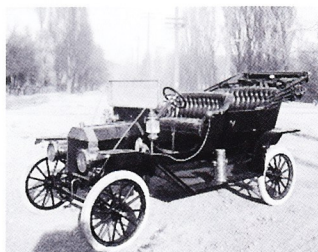
～新しいモビリティへ その賢い選択とは～

自動車の誕生

自動車が生じたのは、日本がまだ江戸時代。産業革命の少し前、フランスでは蒸気機関で走る自動車が発明され、イギリスでは電気式トラックが実用化されていました。

ガソリン自動車が生じたのは明治時代。1886年、ドイツ人のダイムラーとベンツがそれぞれガソリンエンジン自動車をヨーロッパで販売し、貴族が趣味として乗車したようです。

自動車の大衆化が進んだのは大正時代。1908年にアメリカで登場したT型フォードは、史上初のベルトコンベヤー方式が採用されて大量生産が可能となり、大衆車として発展しました。



産業革命が本格化した1930年代(昭和時代)、我が国では、ダットサン商会や豊田自動織機製作所自動車部(現在の日産自動車、トヨタ自動車)が設立されました。

また石油がなかった戦争中、木炭車(木炭の不完全燃焼による一酸化炭素でガソリンエンジンを駆動する車)が、再生可能エネルギー自動車として活躍しました。



自動車とエネルギー

自動車は、人や物が移動するのに便利な手段として進化してきました。

そのエネルギー源も変化していますが、気候変動の大きな原因にもなっています。

トヨタの水素燃料電池自動車「MIRAI(ミライ)」は、燃料電池という新しいエネルギーでこれからを走ります。

江戸時代から進化してきた自動車は、今、平成の時代を過ぎることでその姿を大きく変えようとしています。



薬師寺西塔とMIRAI※

車社会と言われる時代に暮らす私達も今一度、自動車との付き合い方を見直してみましよう！

自動車新時代戦略会議

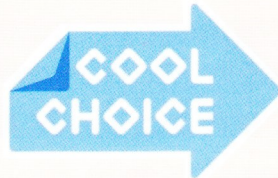
～国も、賢い選択に真剣です～

我が国の自動車新時代戦略会議は、世界で供給する日本車について、走行に用いるガソリンや電気等を製造する過程まで含めたCO₂排出量をゼロにすることを究極の目標として、2050年までに販売車1台当たりの温室効果ガス排出量を2010年比8割削減(乗用車は9割削減)の目標を掲げています。それにより、電気自動車やハイブリッド車、燃料電池車を含む乗用車の電動車率は100%に達すると想定しています。

ただし、ガソリンスタンドが地域インフラとしての役割を担っている側面もあるため、ガソリンスタンド数も1994年度をピークに2017年度には半減している影響についても注視する必要があります。

未来のための COOL CHOICE (賢い選択)

～自動車を賢く使う選択とは?～



環境省のホームページを見てね!

未来のために、いま選ぼう。

COOL CHOICE ってなに?



2030 年度に温室効果ガスの排出量を 2013 年度比で 26%削減するという目標達成のため、省エネ・低炭素型の製品への買換・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策につながる「賢い選択」をしていこうという取組の事です。



交通での賢い選択は、運輸部門や民生・家庭部門の自動車からの CO₂ 排出量を削減するため、エコドライブやエコカーへの買い替えの他に、カーシェアリングもその対策の1つです。

また、自転車のシェアリングも普及しつつあります。貸自転車(レンタサイクル)と異なったサービスで、移動手段の多様化に貢献し、選択の自由度を高めています。

タイムズ24 × 環境省のコラボ「エコドライブ選手権 2018」を開催!

タイムズ24 株式会社は環境省と協力して、2018 年 8 月 1 日～31 日の期間に、カーシェアリングサービス利用時のエコドライブ走行距離を競う「エコドライブ選手権 2018」を実施しました。

このように、COOL CHOICE の認知向上を図ると同時に、楽しみながら環境に配慮した運転を心がけていただくイベントも開催されています。車との付き合い方も様々に変化し、環境にやさしい移動手段が拡大しています。

エコドライブ10のすすめ

ふんわりアクセル「eスタート」



あなたはいくつの項目に関心を持られますか?
COOL CHOICE 賢い選択では、忘れたら思い出すゆとりを。

車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転



減速時は早めにアクセルを離そう



エアコンの使用は適切に



ムダなアイドリングはやめよう



渋滞を避け、余裕をもって出発しよう



タイヤの空気圧から始める点検・整備



不要な荷物はおろそう



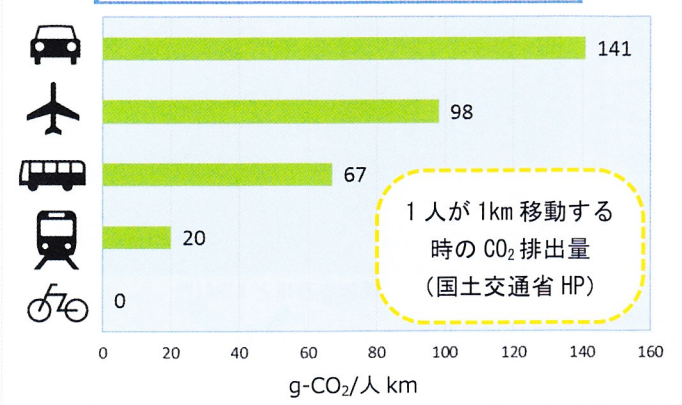
走行の妨げとなる駐車はやめよう



自分の燃費を把握しよう



こんなに違う! CO₂ 排出量



「移動」を「エコ」に、「シェア」をテーマに公共交通機関等、エコで賢い移動方法を選択するライフスタイルであり、COOL CHOICEの取組の一環です。

エコレールプロジェクト
国土交通省が推進する「エコレール」は、公共交通機関の環境負荷を低減するための取組です。

気候変動への適応

～地球温暖化は、待ったなしでやってくる!!～



君野イマさんとミライさんが、スマートムーブのことを車中で話しています。何を話しているかは、クールチョイスのホームページでこのアプリが見られます。移動方法の組合せにも賢い選択が！



環境大臣からのメッセージ



君野イマ ▲

今後地球温暖化が進行すれば、猛暑に見舞われるリスクが高まることは間違いありません。環境省としては、緩和策（COOL CHOICE=賢い選択）とともに、先立成立した気候変動適応法に基づき、引き続き、熱中症対策を含む気候変動適応の周知徹底や充実・強化を図ってまいります。

環境省 COOL CHOICE キャラクター



▲ 君野ミライ

日本の伝統や文化は、世界に誇れる四季の移ろいがあって生まれ、海外からの観光客も感動しています。しかし、近年の四季には、目に見える、肌で感じる異変がおきています。

酷暑が続く日本列島。

今夏、気象庁は「災害と認識している」と発表し、水温が 30 度近いために閉鎖されたプールも続出しました。とても、地球温暖化を感じるというレベルではありません。明らかに、気候変動です。

モビリティでの選択

自転車シェアリングについては、奈良市内でモバイクやドコモ・バイクシェアが活動を始めています。他都市では、ofo（和歌山市）やメルチャリ（福岡市）などが活動展開し、自転車シェアリングが広がっています。

9月中旬に実施される「モビリティウィーク&カーフリーデーなら」は、過度に依存した「自動車の使い方」を市民・行政が一緒に考えていくというものです。

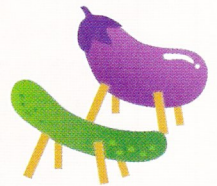
このように多くの選択肢がある移動手段（モビリティ）について、一度ゆっくりと考えてい desired.

お盆には、精霊をキュウリの馬でお迎えし、ナスの牛でお送りするなど、日本の伝統での牛馬は、大切な移動の手段でした。

現代の自動車は、物の移動でも大活躍をしています。馬と牛の役割分担のように、自動車と自動車以外の移動手段（鉄道や自転車など）の利用も、気候変動を防ぐための賢い選択です。

また、宅配便の再配達削減に向けて、環境省は経済産業省や国土交通省と連携し、「COOL CHOICE できるだけ1回で受け取りませんかキャンペーン～みんなで宅配便再配達防止に取り組むプロジェクト～」を実施しています。

あなたも、身近なところから、COOL CHOICE を実践してみませんか！



エコエコサロン『自転車シェアリング勉強会』を開催！

NEWでは、これからも市民の関心の高いテーマについてエコエコサロン等で取り上げていきたいと思います。

その後の、質疑応答、奈良市、今、後、の「展開」、放、置、され、ない、対、策、と、そ、の、仕、組、み、の、電、動、車、の、充、電、バ、ッ、テ、リ、の、再、生、可、能、性、の、活、用、の、ポ、イ、ン、ト、の、場、所、に、限、ら、な、い、の、か、ら、な、ど、の、問、答、が、多、く、交、わ、り、合、わ、る、と、思、い、ま、す。



ドコモ・バイクシェアの自転車



モバイク・ジャパンの自転車

8月30日、NEWエコエコサロンとして「自転車シェアリング勉強会」を開催し、NEW会員のほか、県立大学の学生、市議会議員、自治体職員など、28名が集まり、奈良市内でシェア・バイク事業を展開しているモバイク・ジャパンとドコモ・バイクシェアの担当者から説明を受けました。

市民・事業者・行政が集まって活動する (NEW)

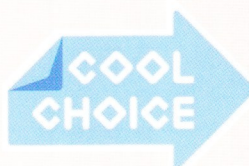
「奈良市地球温暖化対策地域協議会」の紹介



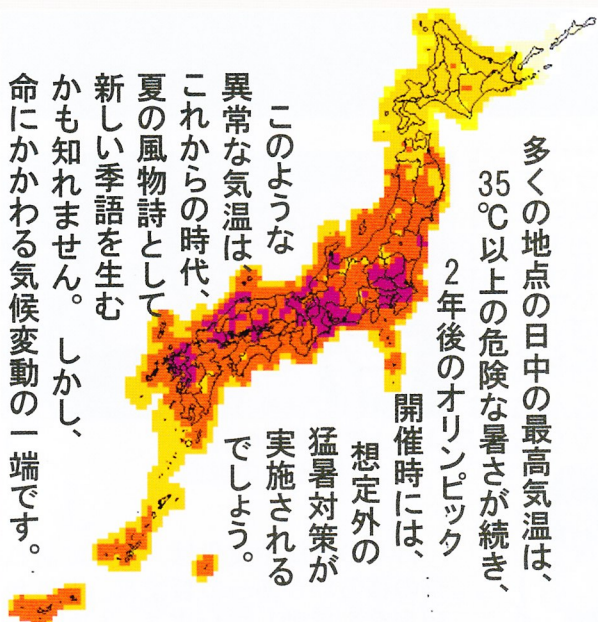
NEW は、市民などの会員が協働して地球温暖化対策を進めています。

省エネや再生可能エネルギー啓発の取組みのほか適切なリサイクルや廃棄物減量化による CO₂削減、レジ袋の有料化や今話題となっているプラスチック問題などの情報収集、環境学習等も実施しています。

ご意見や取組ご賛同は
末尾の事務局まで、ご連絡ください。



未来のために、いま選ぼう。



NEWの新しい活動

NEWで始めている『自転車と歩く～ならみどころマップをつくろう!』は、奈良県立大学との連携プロジェクトで、徒歩や自転車で巡るならまちやきたまち周辺の観光マップをつくろうと取り組んでいます。

そこで、この春から展開している自転車シェアリング事業の自転車も使いながら、ならまちの散策をしました。なら100年会館前のサイクルポートから自転車組とバス組に分かれ、ならまち南観光案内所のサイクルポートで再集合し、ポートならどこで返しても良い「ちょいのり」ができる自転車シェアリングのメリットを活かして、そこに自転車を置いて、みんなで歩きました。中国系の観光客はシェアリング自転車を家族で利用していました。

きたまちの散策は、般若寺バス停で降りて、奈良豆比古神社など周辺を歩いて散策し、植村牧場サイクルポートから、佐保川沿いの漕ぎやすい道を市役所まで下りました。



酷暑での熱中症対策では、あれほど節電を呼びかけていたクーラーの出番が多くなり、電気使用量が大きく伸びたことでしょう。

一方、電力のひっ迫は、太陽光発電の普及が何とか役立ったようで、温暖化の進行を少しでも遅くするには様々な対策があるはずです。

地球温暖化対策での複雑な動きと、また様々に関係する中で、NEWの活動に、市民の皆様のご参加をお待ちしております。

NEW会長 清水 順子

※表紙の水素燃料電池自動車「MIRAI (ミライ)」は、2017年11月に、奈良トヨタ自動車(株)創立75周年を記念して、薬師寺に寄贈されたものです。薬師寺では環境にやさしい車として役立てられています。



発行 奈良市地球温暖化対策地域協議会 (NEW)
事務局 奈良市環境政策課内
〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号
TEL: 0742-34-4591 FAX: 0742-36-5466
メール: new-nara@city.nara.lg.jp